

イサク ①

□イサクの信仰の手本

1. 土地の約束と子の約束は、アブラハムに復活を確信させることになった。アブラハムは、約束の子イサクを捧げることを通して、復活信仰を表明した。このとき、イサクは30歳代の壮健な青年であったが、父アブラハムに逆らわず、従い通した。
2. 父アブラハムと同様、寄留者の立場を甘んじて受けて、忍耐し続けた。
3. イサクは、双子の息子エサウとヤコブをもうけた。出産のときに神はアブラハム契約の継承者は弟のヤコブになるという預言を与えていたが、イサクは兄のエサウの方を愛し、エサウを選ぼうとした。しかし、妻リベカと子ヤコブによる偽計事件を受けて、神のみこころに逆らっていた自分の罪に気づき、自ら進んで、確信をもって、未来のことについてヤコブとエサウを祝福した。

□本日の内容 1番 「土地の約束と子の約束は、アブラハムに復活を確信させることになった。アブラハムは、約束の子イサクを捧げることを通して、復活信仰を表明した。このとき、イサクは30歳代の壮健な青年であったが、父アブラハムに逆らわず、従い通した。」・・・この出来事は、昨年12月、アブラハムの信仰の手本を学ぶ中で扱いましたが、あらためて、イサクの視点から学びましょう。特にイサクの異母兄、イシュマエルとの関係に注意しながら、前後の流れも含めて聖書記事のあらすじを説明します。

(1) 創世記17章・・・アブラハムが99歳のとき、イサク誕生の1年前、アブラハム契約の4度目の確認がなされた。アブラハム契約は3つの約束から成る。土地の約束、子孫の約束、そして祝福の約束である。彼が最初に神の約束を受けて(12章)から24年が経過していた。そして、イシュマエルが生まれて(16章)から13年である。彼は、子孫の約束はイシュマエルを通して成就していくものと思っていた。4度目の確認のときのポイントは次のとおり。

- ① アブラハム契約のしるしとして、男子は割礼を受けるように命じられた。
- ② アブラムは「アブラハム」に、サライは「サラ」と改名するように命じられた。
- ③ 妻サラがアブラハムに男の子を産む。その子の名を、イサクとせよ。そして、アブラハム契約の継承者はイサクである、と告げられた。なお、この神の約束によってイサクが生まれるので、イサクを「約束の子」と呼ぶ。
- ④ 先にエジプト人の女奴隷ハガルがアブラハムに産んだ子、イシュマエルについては、次のように神は言われた。「必ず、わたしは彼を祝福し、子孫に富ませ、大いに増やす。彼は十二人の族長たちを生む。わたしは彼を大いなる国民とする。しかし、わたしがわたしの契約を立てるのは、サラが来年の今ごろ、あなたに産むイサクとの間である。」(創17:20~21)

(2) 創世記 21 章・・・神の約束のとおり、イサクが誕生した。アブラハムが 100 歳、サラが 90 歳であった。そのイサクが成長して 3 歳から 5 歳の間での出来事（創 21：8～21）。イシュマエルは、17 歳～20 歳の青年であった。

- ① イサクの乳離れの宴会があった。そのとき、イシュマエルがイサクをからかっているのを、サラが見た。
- ② サラはアブラハムに、女奴隷ハガルとその子イシュマエルを追い出すように要求した。
- ③ アブラハムは非常に苦しんだ。イシュマエルも自分の子であるから。ここで、神はアブラハムに、次のように言われた。「その男子とあなたの女奴隷のことで苦しんではならない。サラがあなたに言うことはみな、言うとおりに聞き入れなさい。というのは、イサクにあって、あなたの子孫が起こされるからだ。しかし、あの女奴隷の子も、わたしは一つの国民とする。彼も、あなたの子孫なのだから。」→17 章での預言の再確認
- ④ アブラハムは、パンと水を持たせて二人を送り出した。しかし、二人は次のオアシスに着く前に道に迷い、水が尽きてしまった。イシュマエルが先に衰弱して倒れ、ハガルは息子を見ているのがつらく、離れたところまで行って泣いた。そこに神の使い（受肉前の第 2 位格の神、子なる神）が天から声をかけ、ハガルの目を開いて、そこにあった井戸に気づかせた。
- ⑤ 神の守りの中で、イシュマエルは荒野で成長し、「弓を射る者」（＝獵師）となった。ハガルはエジプトから息子のために嫁を迎えた。その後のことは、創世記 25：13～18 に記録され、12 人の息子を得て、それぞれが氏族の長となった、とある。彼らが、今日のアラブ民族として増え広がり、富む者となった。神の預言のとおりである。

(3) 創世記 22 章・・・イサク奉献

- ① イサクが 30 歳～37 歳の頃のこと
 - 直前の記事 21 章の最後は「アブラハムは長い間、ペリシテ人の地に寄留した」とある。この間、イサクは成長して大人になっていると推測される。
 - 直後の記事 23 章では、イサクは 37 歳
- ② 神がアブラハムを試練にあわせられた。神は仰せられた。「あなたの子、あなたが愛しているひとり子イサクを連れて、モリヤの地に行きなさい。そして、わたしがあなたに告げる一つの山の上で、彼を全焼のささげ物として献げなさい。」
- ③ 翌朝早く、アブラハムはろばに鞍をつけ、二人の若い者と一緒に息子イサクを連れていった。アブラハムは全焼のささげ物のための薪を割った。こうして彼は、神がお告げになった場所へ向かって行った。三日目に、アブラハムが目を上げると、遠くの方にその場所が見えた。
- ④ アブラハムは若い者たちに、「おまえたちは、ろばと一緒に、ここに残っていな

さい。私と息子はあそこに行き、礼拝をして、おまえたちのところに戻って来る」
と言った。アブラハムは全焼のささげ物のために薪を取り、それを息子イサクに
背負わせ、火と刃物を手に取った。二人は一緒に進んで行った。

- ⑤ イサクは父アブラハムに話しかけて言った。「お父さん」彼は「何だ。わが子よ
と答えた。イサクは尋ねた。「火と薪はありますが、全焼のささげ物にする羊は、
どこにいるのですか。」アブラハムは答えた。「わが子よ、神ご自身が、全焼のさ
さげ物の羊を備えてくださるのだ。」こうして二人は一緒に進んで行った。
- ⑥ 神がアブラハムにお告げになった場所に彼らが着いたとき、アブラハムは、そこ
に祭壇を築いて薪を並べた。そして息子イサクを縛り、彼を祭壇の上の薪の上に
載せた。アブラハムは手を伸ばして刃物を取り、息子を屠ろうとした。
- ⑦ そのとき、**主の使い**が天から彼に呼びかけられた。「アブラハム、アブラハム。」
彼は答えた。「はい、ここにあります。」御使いは言われた。「その子に手を下し
てはならない。その子に何もしてはならない。今わたしは、あなたが神を恐れて
いることがよく分かった。あなたは自分の子、自分のひとり子さえ惜しむことが
なかった。」
- ⑧ アブラハムが目を上げて見ると、見よ、一匹の雄羊が角を藪に引っかけていた。
アブラハムは行って、その雄羊を取り、それを自分の息子の代わりに、全焼のさ
さげ物として献げた。アブラハムは、その場所の名をアドナイ・イルエ（主が備
えてくださる）と呼んだ。
- ⑨ **主の使い**は再び天からアブラハムを呼んで、こう言われた。「わたしは自分にか
けて誓う一主のことば一。あなたがこれを行い、自分の子、自分のひとり子を惜
しまなかつたので、確かにわたしは、あなたを大いに祝福し、あなたの子孫を、
空の星、海辺の砂のように大いに増やす。あなたの子孫は敵の門を勝ち取る。あ
なたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けるようになる。あなたが、
わたしの声に聞き従ったからである。」
- ⑩ ヘブル 11：17～19 信仰によって、アブラハムは試みを受けたときにイサクを
献げました。約束を受けていた彼が、自分のただひとりの子を献げようとしたの
です。神はアブラハムに「イサクにあって、あなたの子孫が起こされる」と言わ
れましたが、彼は、神には人を死者の中からよみがえらせることもできると考え
ました。それで彼は、比喩的に言えば、イサクを死者の中から取り戻したのです。

(4) 母サラの死（創 23 章） サラ享年 127 歳＝イサク 37 歳

(5) イサクに嫁を迎える（創 24 章） イサク 40 歳（創 25：20）

(6) 父アブラハムの死（創 25 章） アブラハム享年 175 歳 イサクとイシュマエルの二
人で父を葬った（創 25：9）。